

■放射線部

○平成17年度目標

1. 患者さんに対する接遇の向上

- ・適切な言葉遣い・清潔な身だしなみ
- ・患者さんへの思いやり・苦情や質問に対しての適切な回答

〈評価〉

言葉遣い、身だしなみについてはスタッフ間でお互い注意したりして気をつけるようにしていますが、今後は個人の自覚を促すためにもチェック表に入れる等して意識付けを強めていきたいと思えます。また、患者さんからの質問や苦情等に対してはどのように回答したかを報告してもらい、スタッフ間で話し合い、統一した回答を行うようにしています。

2. 撮影技術の向上

- ・診断及び治療に有用な質の高い画像の作成
- ・医師及び医療従事者間の情報交換・研究会、技師会への参加

〈評価〉

昨年同様に呼吸器の症例検討会へ出席させてもらい、知識に基づいた技術の習得を行っております。また、検査手順・画像作成手順のルーチン化・効率化を常に気をつけるように心がけ検査待ち時間・画像提出時間の短縮にも努めております。

3. 医療事故の防止

- ・患者さんの取り違え防止・撮影時の転倒、転落の防止
- ・患者情報の記載、入力間違いの防止・撮影指示の誤認防止

〈評価〉

患者さん取り間違えによる撮影・転倒、転落事故はありませんでした。取り間違え防止は同姓同名または似ているような名前の患者さんがいた場合に事前に連絡をもらい注意を促してもらう等各病棟・外来等の関係部署の協力や検査室入室時のフルネーム確認の徹底によるものと思われます。転倒、転落については、今後は高齢者、ケア度の高い患者さんが増えると思いますのでより一層の安全な対策を配慮しなければならないと思います。

また患者情報の記載、入力、撮影指示の誤認についてのインシデントが4件発生しており、確認の徹底やチェック機能の改善を図ったり、毎朝ミーティングを行い当日の担当や検査事項の確認、連絡事項の伝達等をして事故・誤認防止に努めております。

4. 感染の防止と廃棄物の処理

- ・感染に関する正しい知識の習得・フィルム管理と破棄
- ・撮影室・機器の清掃と消毒・適切な廃棄物の処理

〈評価〉

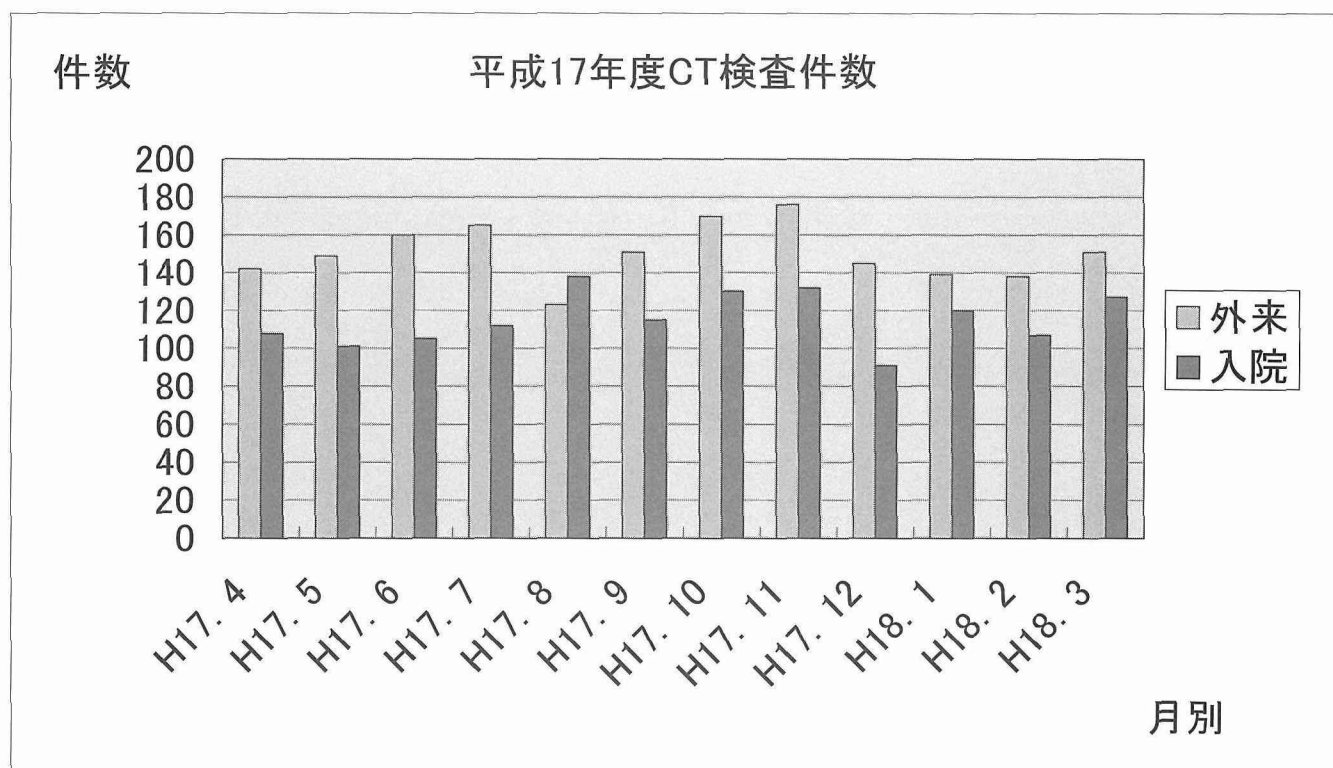
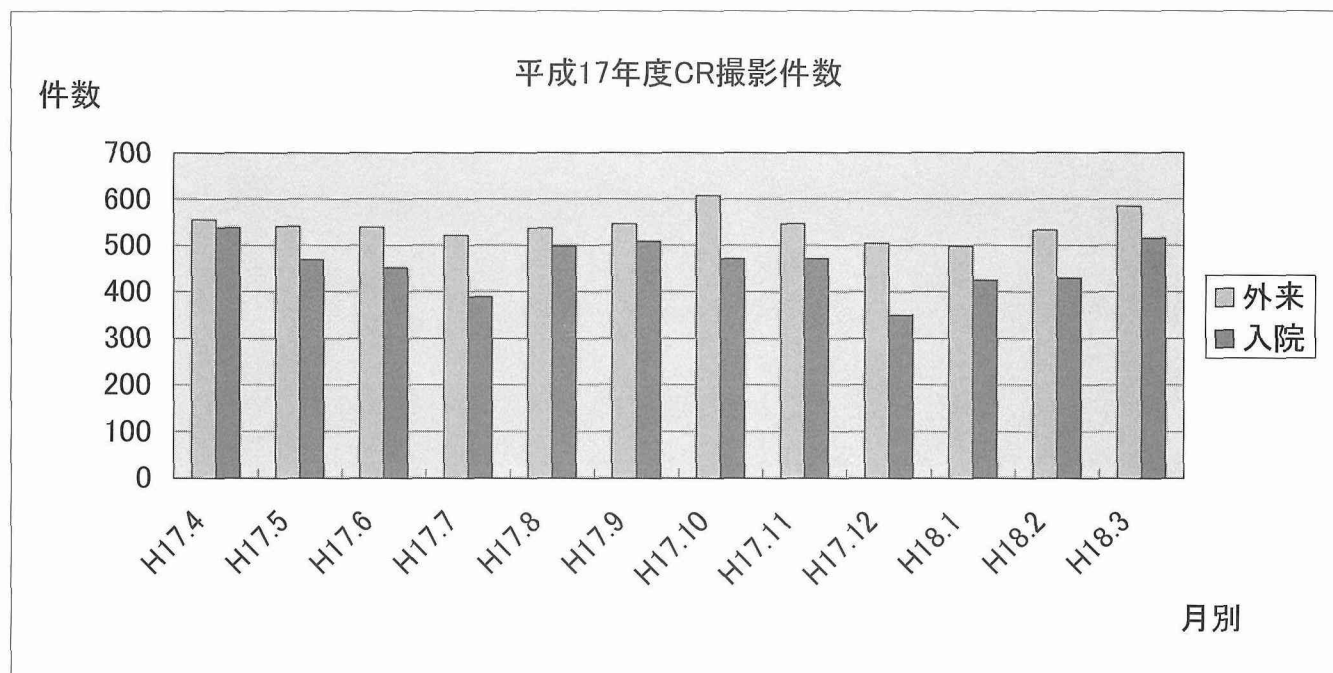
昨年同様に撮影前後での手洗いの励行、撮影室・機器の清掃等を行い防止に努めております。

フィルム管理・破棄についてはスタッフ間で話し合い誤解のないように統一した見解を持って保管・破棄を実施しております。

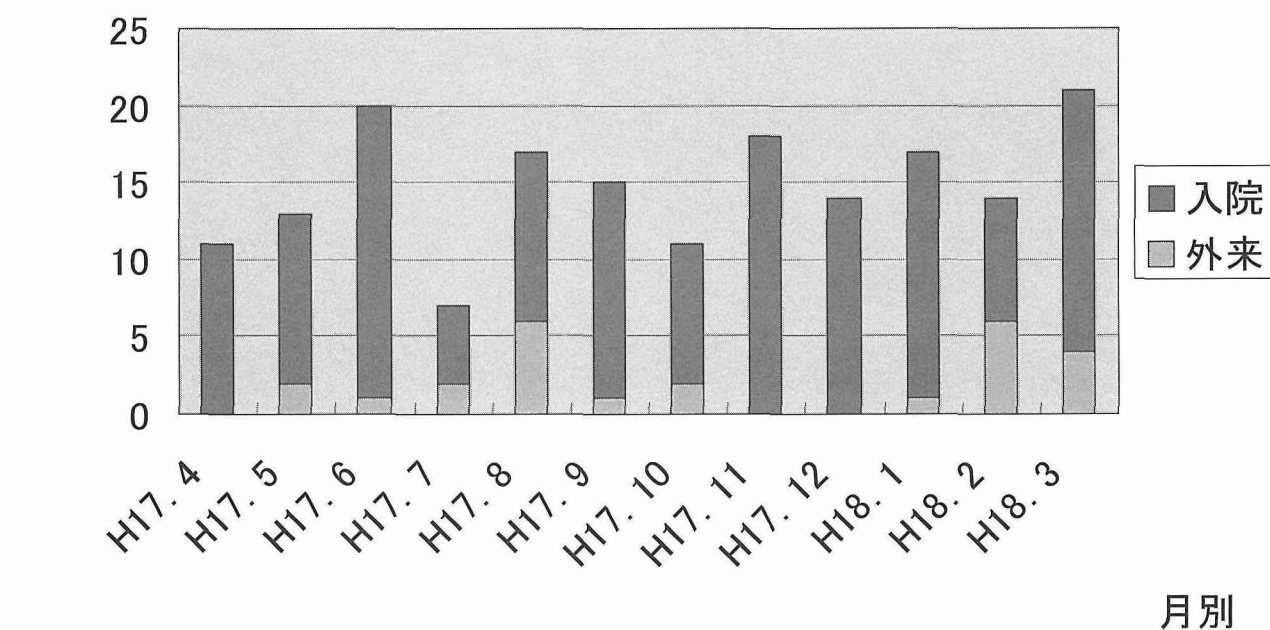
17年度事業

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・透析量測定 K T / V T A C - B U N P C R 検討 ・中央管理専任制開始 ・透析室勉強会 ・透析データファイルの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベネット オーバーホール ・感染管理セミナー参加
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導 ・透析室勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・K T / V 検討
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・透析談話会参加 ・骨密度測定（B室） ・中央管理定期点検開始～12月まで続行 ・K T / V 検討 ・エンドトキシン測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・R O フィルター交換 ・透析療法学会参加 ・透析量を 患者個人に説明 配布 ・東レ社製 B G - U の皮膚への掻痒の評価データ取り開始 ・透析室勉強会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターV P ラインフィルター交換 ・K T / V 検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨密度測定（A室） ・透析室勉強会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導 ・透析室勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・K T / V 検討 ・骨密度測定（C室）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・R O フィルター交換 ・透析装置 オーバーホール開始（51台） ・インテグラ 定期点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・R O 装置 T P - 1 T C - A B V オーバーホール ・K T / V 検討 ・研修会（個人情報保護法）参加
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・透析量測定 K T / V T A C - B U N P C R 検討 ・透析装置 O H 管理ソフトの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・透析室勉強会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・透析療法学会参加 ・透析談話会（東レ社製 B G - U の皮膚への掻痒の評価）発表 ・K T / V 検討 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・R O フィルター交換 ・透析室勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・K T / V 検討 ・エンドトキシン測定
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・透析量測定 K T / V T A C - B U N P C R 検討 ・モニターV P ラインフィルター交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器勉強会の開催
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・K T / V 検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・透析室勉強会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・R O フィルター交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・透析室勉強会

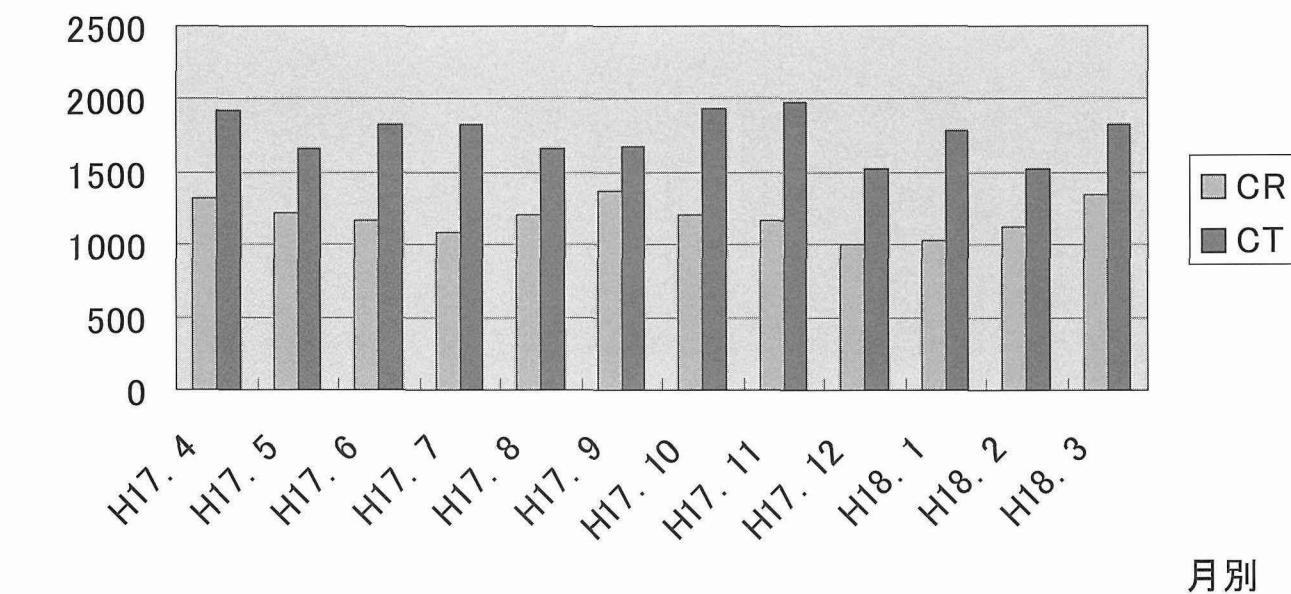
平成17年度検査実施件数（詳細は別表をご参照下さい。）



平成17年度血管造影室検査件数



平成17年度フィルム使用枚数



CR撮影、CT検査、血管造影室検査は昨年より増えてきております。

検査別では副鼻腔CT検査が昨年来より増加しており、CT検査にて炎症等の症状があれば、MPR画像を作成して提出したりしています。また、今年度は新たに内臓脂肪測定CTを実施するようになり、平成18年4月から始まる血管ドックでも検査を実施するため更に増えると思われます。

平成17年度 放射線科実績表

CR検査

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上期計		10月		11月		12月		18年1月		2月		3月		下期計		合計	
	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入
胸部	542	484	528	429	530	419	514	365	533	447	542	481	3,189	2,615	598	448	540	448	491	336	492	398	524	407	582	495	3,227	2,532	6,416	5,147
腹部	12	43	11	37	7	28	7	30	1	46	3	22	41	206	8	23	5	19	10	12	3	22	7	17	2	19	35	112	76	318
軀幹	2	5	1	3	0	2	0	3	2	3	1	4	6	20	0	0	1	1	1	2	2	2	1	2	0	1	5	8	11	28
四肢	0	6	1	0	2	2	0	1	1	1	0	2	4	12	1	0	0	2	1	0	0	2	0	3	1	0	3	7	7	19
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	556	538	541	469	539	451	521	389	537	497	546	500	3,240	2,853	607	471	546	470	503	350	497	424	532	429	585	515	3,270	2,659	6,510	5,512

CT検査

頭部	0	12	2	12	3	12	5	17	1	15	4	13	15	81	2	11	8	13	2	14	10	15	2	8	3	7	27	68	42	149
副鼻腔	4	2	7	5	4	4	6	2	6	2	7	2	34	17	3	2	4	2	8	2	6	3	2	1	9	2	32	12	66	29
頸部	2	4	0	4	1	2	1	2	2	2	2	1	8	15	3	2	0	2	0	2	0	2	1	5	1	2	5	15	13	30
胸部	126	68	131	58	143	59	134	61	104	79	123	65	761	390	144	76	148	79	124	48	113	72	113	65	118	86	760	426	1,521	816
腹部	7	17	6	16	7	22	16	20	7	26	10	21	53	122	11	24	12	21	11	13	8	20	15	19	15	21	72	118	125	240
骨盤	2	1	2	6	2	6	3	8	2	14	5	13	16	48	7	14	4	12	0	7	2	4	4	8	3	9	20	54	36	102
椎骨	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	7	1	12
その他	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	3	0	2	1	0	2	0	3	7	5	8
小計	142	108	149	101	160	105	165	112	123	138	151	115	890	679	170	130	176	132	145	91	139	120	138	107	151	127	919	707	1,809	1,386

透視室検査

胃	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4	0	7	1	0	0	2	0	2	1	0	0	1	1	0	0	5	2	12	3
注腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
TBLB	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	3	0	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	10
胃チューブ挿入	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	2	0	6	0	2	0	3	0	2	0	2	0	2	0	2	0	13	0	19
IVH挿入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	8	0	9
ドレーン挿入	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	3	0	9	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5	0	14
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
小計	0	3	1	1	1	4	0	3	1	7	4	9	7	27	0	7	3	8	2	4	0	3	1	5	0	4	6	31	13	58

血管造影室検査

CAG	0	5	0	5	0	8	0	3	0	4	0	5	0	30	0	6	0	7	0	7	0	12	0	4	0	3	0	39	0	69
PTCA	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	6	0	1	0	2	0	1	0	2	0	12	0	19
シャント造影	0	1	1	0	1	0	1	0	5	1	0	0	8	2	1	0	0	0	0	1	1	1	4	0	2	1	8	3	16	5
動脈造影	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	1	0	1	7	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	3	2	10
PTA	0	2	1	0	0	1	1	0	1	4	0	0	3	7	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	2	2	4	6	7	13
ペーサーカテーテル挿入	0	0	0	1	0	4	0	1	0	2	0	6	0	14	0	2	0	4	0	2	0	0	0	2	0	7	0	17	0	31
IVH挿入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
小計	0	11	2	11	1	19	2	5	6	11	1	14	12	71	2	9	0	18	0	14	1	16	6	8	4	17	13	82	25	153
合計	1,358	1,275	1,280	1,197	1,320	1,349			7,779	1,396	1,353	1,109	1,200	1,226	1,403			7,687												

フィルム使用枚数

エパ大角	0	0	0	22	1	0	23	0	0	0	0	0	0	0	23
エパ四切	3	5	6	0	27	48	89	4	62	40	2	18	3	129	218
DUP半切	38	29	67	19	50	48	251	48	48	78	53	21	17	265	516
DUP大角	13	9	32	14	20	125	213	9	21	35	13	0	5	83	296
C R	1,316	1,217	1,162	1,079	1,207	1,371	7,352	1,210	1,173	1,007	1,024	1,125	1,345	6,884	14,236
C T	1,924	1,656	1,833	1,824	1,659	1,677	10,573	1,943	1,981	1,524	1,780	1,527	1,823	10,578	21,151
合計	3,294	2,916	3,100	2,958	2,964	3,269	18,501	3,214	3,285	2,684	2,872	2,691	3,193	17,939	36,440

GD-R使用枚数

38	35	40	20	37	22	192	32	48	41	41	31	46	239	431
----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

ポータブル撮影枚数

178	165	118	105	156	163	885	120	147	134	126	91	133	751	1,636
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-------

研究発表

- 平成17年10月 ・画論'05ザ・ベスト・イメージ 撮影・画像作成手法発表
「単純C T検査における肺動静脈瘻の3 D画像」 杉山
「肺分画症における異常血管の描出」 高谷
「解離性下行大動脈瘤の血管走行及び腔内を3 D画像で描出」 輪島・加藤
- 平成17年11月 ・禎心会及び恵愛会放射線科合同研究発表会
「当院における副鼻腔CT検査について」 加藤・高谷

参加した研修会・講習会

- 平成17年7月 ・3rd Multidetector-Row CT Symposium
「C T検査における撮影線量の最適化」、「大動脈・末梢血管の3 D C T」等
- 平成17年9月 ・第407回札幌肺を診る会
テーマ「肺癌らしくない肺癌、肺癌らしい良性疾患」
・札幌市放射線技師会学術研修会
「放射線障害防止法等の改正について」
- 平成17年10月 ・第1回北海道医療画像研究会
「医用三次元画像のためのC Gの基礎」
- 平成17年11月 ・日放技ADセミナー受講
「救急医療学」「医療安全学」
- 平成18年1月 ・第4回北海道アンギオ画像研究会セミナー
「心臓カテーテル検査に役立つ心電図の読み方」
「頭頸部領域におけるI V Rの現状と展望」等
・第22回北海道ヘリカルC T研究会
「下肢深部静脈撮影の検討」、「心臓C Tの基礎と臨床」等
- 平成18年2月 ・第5回基礎からの画像診断研修会
「整形領域－単純X線とMR Iの読み方－」
- 平成18年3月 ・第52回MRI画像研究会
「FDG－PETとdiffusion (DWIBS) との比較」等

これからの展望

高度化する医療の中で個々のスキルアップの取り組みを含めて検査技術の資質の向上を図るとともに、検査へのより一層の安全確保を目指すように努めていきたいと考えます。

そのため昨年同様に呼吸器科での画像カンファレンスに参加したり、市内での各研修会の参加、地方で実施される研修会・セミナーへの参加を検討したり、科内での勉強会を行えるようにしていきたいと思います。また、フィルム管理、適正在庫等の撮影業務以外での放射線業務の効率化を図りたいと思います。